

Peripheral Driver Generator ご使用上のお願い

Peripheral Driver Generatorの使用上の注意事項を連絡します。

- RX62Nグループマイコンの外部バスを設定する際の注意事項

1. 該当製品

Peripheral Driver Generator V.2.01以降

2. 内容

該当製品で、RX62Nグループマイコンの外部バスを設定した場合、端子機能ウィンドウ (端子機能シートおよび周辺機能別使用端子シート) の表示が実際の設定と異なる場合があります。

3. 発生条件

以下のいずれかの条件を満たす場合に発生します。

- (1) 外部バスの設定でSDRAM領域のみ設定し、CS領域を設定していない。

この場合、端子機能ウィンドウの表示ではWR#およびWR0#端子が無効になります。また、この端子に他の機能を割り当てても競合状態を示す警告は表示されません。しかし、警告はでませんが、この端子に割り当てた他の出力機能は動作しません。

- (2) 外部バスのアドレス出力端子の設定でA0およびA1を無効としている。

この場合、端子機能ウィンドウの表示では以下の端子機能が有効となりますが、これらはA0およびA1が無効の場合は動作しません。

BC0#端子 : CS領域を設定し、ライトアクセスモードのリストから

1ライトストロークを選択した場合。
DQM2およびDQM3端子：SDRAM領域を設定し、バス幅に32ビットを選択した
場合。

4. 対応策

発生条件(1)の場合:

WR#およびWR0#の端子に他の機能を割り当てないように注意してください。
外部バスを使用する場合、これらの端子を他の出力機能で使用することは
できません。

発生条件(2)の場合:

BC0#、DQM2、またはDQM3を使用する場合は、アドレス出力端子の設定で
A0およびA1を有効にしてください。

5. 恒久対策

今後のリビジョンアップで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。